

そ  
お  
曾 於 議会だより

2012.11  
No.30



一般会計補正予算

2

市政を問う

5

委員会報告

16

おろんの上棟あめまき (P20 参照)

# 9月定例会

## コールセンターオペレーター人材育成事業委託料など 企業誘致促進対策費に8,214万円

(株)DIO ジャパン提供

### 9月定例会

#### 予 算

#### ★平成24年度曾於市 一般会計予算の補正 (全会一致 可決)

今回の補正は、歳入  
においては、災害復旧  
に伴う土木施設災害復  
旧事業の国庫負担金1  
273万円や現年発生  
農業用施設災害復旧費  
県補助金9290万円  
が主なものです。

歳出においては、定  
住促進対策事業28  
58万円、家庭児童

9月定例会は、9月6日から9月25日ま  
での20日間の日程で開かれました。  
定例会では、曾於市暴力団排除条例や曾  
於市そお生いき健康センターの設置及び  
管理に関する条例、平成24年度予算の補正  
など議案12件、報告3件、承認案2件、諮  
問1件、陳情3件、発議3件などを審議し、  
議決しました。  
また、認定案7件、議案1件については、  
継続審査となりました。

相談室設置事業費や、  
現在発生の農地災害、  
土木災害復旧費など  
1億9143万円が  
主なものです。

また、財部南中学校  
跡地利用で二社の企  
業誘致を進め、コール  
センターオペレーター  
人材育成事業委託料、  
建物の改修に821  
4万円計上しており  
ます。

審議の中で南之郷  
中学校跡地利用につい  
ても支援すべきである  
との意見が出ました。  
また、旧恒吉中学校

の跡地利用で水道施設  
改善設計委託料の38  
0万円、便所施設(18  
㎡)の工事設計委託料  
60万円支出することに  
ついて建設課の職員で  
できることは対応すべ  
きであると強い意見が  
出ました。

また、議長及び副市  
長の公用車購入につい  
て431万円予算化さ  
れておりますが、高級  
車のクラウン等を購入  
すべきではないとの意  
見があり、副市長が見  
直しをしたいと答弁。

# 4億3,158万円追加

★平成24年度曾於市国民健康保険特別会計予算の補正  
(全会一致 可決)

今回の補正は、歳入においては、脳卒中対策プロジェクト事業による特別県調整交付金199万8千円と前年度繰越金33万8千円です。

歳出においては、脳卒中対策プロジェクト事業の実施であります。

★平成24年度曾於市後期高齢者医療特別会計予算の補正  
(全会一致 可決)

今回の補正は、一般会計からの事務費繰入金87万1千円であります。

★平成24年度曾於市公共下水道事業特別会計予算の補正  
(全会一致 可決)

今回の補正は、歳入においては、前年度繰越金146万7千円の追加と雑入の消費税還

付金及び還付加算金40万1千円の減額であります。

歳出においては、消費税の追加による下水道総務費36万6千円及び下水道処理場の修繕費70万円の追加であります。

★平成24年度曾於市水道事業会計予算の補正  
(全会一致 可決)

今回の補正は、末吉上水道事業の丸山地区水道管布設に伴う工事費1360万円の追加であります。

## 条例

★曾於市そお生きいき健康センターの設置及び管理に関する条例の制定  
(全会一致 可決)

この条例は、そお生きいき健康センターの建設に伴い、末吉福祉施設メセナ会館と一体的な施設の維持管理を行うため、新たに条



建設中のそお生きいきセンター（末吉町）

例を整備する内容であります。

0万円を見込んでいたことであった。市民にとってこの施設は、大きな意義があるので、市民プール等とも連携し総合的な利用が図られるよう望む意見が出された。

- 事業目的
- ・健康増進及び福祉向上に関すること
  - ・健康教育、健康相談及び福祉相談に関すること
  - ・各種健（検）診及び疾病予防に関すること
  - ・食生活改善に関すること
  - ・その他市民の健康及び福祉に関すること

★曾於市暴力団排除条例の制定について  
(全会一致 可決)

この条例は、平成24年5月7日に曾於警察署から依頼があり、曾於市としてもこのことと同調し、曾於市

## 財産の取得

(全会一致 可決)

品名  
水槽付消防ポンプ自動車1台  
金額  
2171万4千円

配置先  
曾於市消防団末吉方面隊中央分団



現在の水槽付消防ポンプ車

## 人権擁護委員の承認

人権擁護委員候補者として推薦するため、議会に意見が求められ適任とされました。



山口 紀志子 氏

財部町北俣1476番地  
※任期は平成25年1月からの3年間です。

## 陳情

★「共同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書に関する陳情書  
(全会一致 採択)

提出者

大隅町中之内

4689番地2

瀬戸口 拓也氏

## ★曾於市グラウンドゴルフ場(公認コース)建設要望について

(全会一致 採択)

本陳情は、生涯スポーツとして、グラウンドゴルフ愛好者は年々増加しており各種大会等も増えている中、各地区の競技場は手狭であり大会開催の運営に苦慮しているところである。

よって、本市で主要な大会が開催可能な公認のグラウンドゴルフ場建設を求める陳情である。  
審査において、大隅町と財部町の会場は、かろうじて運営ができ



グラウンドゴルフで賑わう  
弥五郎伝説の里

る広さがあるが、末吉の栄楽公園は、野球・ソフトボール・陸上競技場を兼ねた総合運動場であるため、末吉地区にその必要性が認められるとの意見が出された。

提出者

大隅町岩川

7234番地2

西 松夫氏

財部町南俣

491番地4

森園 幸雄氏

末吉町諏訪方

5543番地2

松崎 辰雄氏

## 知っていますか 請願・陳情の出し方

みなさんから議会に要望などを伝える方法として、文書による請願や陳情書の提出があります。

○ 請願や陳情書には要旨と理由を簡単に、わかりやすく書いてください。

○ 請願書は一人以上の紹介議員が必要です。

○ 紹介議員が付かないときは陳情書としてください。

一般質問  
11議員登壇

# 市政を問う

## フラワーパークは中止を

市長／中止は考えていない



徳峰 一成 議員

**徳峰議員** 立場や党派を超えた市民230名が9月9日、フラワーパークの中止を求めて集会を開いた。所見を聞きたい。

**池田市長** 反対の意見だけでなく、賛成の意見もある。事業の中止は考えていない。

**問** もっとも心配されるのが、維持管理費の赤字の増大である。指宿のフラワーパークは、年間17万人の入園者を確保するのに2億1千

万円の赤字である。ところが曾於市のフラワーパークは年間10万人の入園者を確保するのに200万円から400万円の赤字で済むといった計画である。市長は、この計画に自信があるのか。

**市長** 自信を持って出した数字である。

**問** しかし多くの市民はもし大きな赤字になったら市長の全財産は市に提供する。そうした強い決意がなければ率直に言って市長答弁は空答弁、空約束に感じるのはないか。

**市長** 野暮なやり方でありそれはできない。



高峯のつつじヶ丘公園（垂水市）

**問** そうであるなら曾於市が計画している多くの入園者と少ない赤字で運営されているフラワーパークが全国で一例でもあるのか報告されたい。

**市長** そうした事例は把握していない。

**再生可能エネルギー  
でまちおこしを**

**問** 大事なものは、地元雇用や企業にプラスとなる、まちおこしにつながる取り組みを目指すことではないか。次の二点を提案したい。早急に副市長をキャ

ップに対策委員会を設置して、そのもとで総合的で幅広い調査と研究を行うべきではないか。必ず曾於市に合ったバイオマス、太陽光、風力、水力などを使っ

た施策が見えてくるのではないか。

**市長** 副市長を中心にチームをつくり対応していきたい。

**問** 2点目。加えて一般市民や農家・企業に対する市独自の支援は、こうした総合的な再生可能エネルギーのあり方を研究するなかで、積極的に進めていくべきではないか。

**市長** 今後チームをつくり方向性が見えたら支援していきたい。



バイオマスシステム  
(若手県葛巻町役場より提供)

# 山中貞則顕彰館の開設をいそげ

市長／記念的な日を考える



迫 杉雄 議員

**迫議員** 顕彰館オープンについての整備状況はどうか。

また、山中氏の生涯の偉業について政治的、人間的にどのような力点をおいて考えているか。

**池田市長** 現在、山中氏の所蔵品の点数等を的確に把握し、展示に向けて取り組んでいる。

偉業については、昭和22年に県議会議員、昭和28年に衆議院議員に当選され、17期衆議院議員として国政、郷土の発展に貢献された。

特に、沖繩を本土復帰させ沖繩開発庁初代長官に就任された。

**問** 『働哭』並びに『南回帰線』を出版されており、歌人としても多くの短歌も詠まれていることから歌碑も建立すべきではないか。

同時に吉井画伯、財部の愛甲兼達氏に加え、高木秀吉氏も考えたらどうか。

**市長** 市内三町から広く考えて検討したい。

**問** 顕彰館のオープン時期について、平成25年2月20日の10年祭は考えられないか。



山中顕彰館（末吉町深川）

**市長** オープン時期については、何か記念的な日を選ぶことは必要である、寄付の集まり具合と考えるながら対応したい。

## 山城跡の今後の対応は

**問** 恒吉城の史跡公園としての整備と、地域住民への理解と協力、また現在までの対応はどうであるか。

**植村教育長** 恒吉城跡保存整備事業は史跡公園として整備することが目的である。

文化庁や県文化財課の指導をうけ、遊歩道の整備、及び地形的特長や歴史的役割等を学習できる見学場所等を設置する必要がある。

今年12月に開催するシンポジウム等で地元の方々や市民に発表するとともに保護、保

存に対する啓発を行い、まちおこし等への活用を図っていく。

**問** 平松城跡の周辺を都城・志布志高規格道路の予定地が考えられるが対応は。

**市長** 計画区間として県や関係機関に配慮してもらおうようお願いしている。

**教育長** 都城・志布志高規格道路の建設予定地となる可能性があるというが、正式には何も聞いてない。そこで事前に配慮されるよう県への要望に努めたい。



教育委員会提供

平松城址（末吉町橋野）

# 胡摩地区がなぜフラワーパーク建設予定地か

市長／事業費が安価で高齢者への負担が少なく交通アクセスが良い



原田 賢一郎 議員

**原田議員** 建設予定地は大型養豚、養鶏場等、畜産農家が最も集中しているところであり畜産を振興する地域で、公園建設にはふさわしくないと考えるが、その最適地の理由は何か。

**池田市長** 建設予定地は平坦で事業費が安価で済む、高齢の来客者に負担がかからない、また交通アクセスが良いことが理由である。

**問** 口蹄疫・鳥インフルエンザ等がまた国内に発生したら最悪の場所ではないか。

**市長** 本市は畜産の町である。これらのウイルスの侵入を防ぐため近隣の市町と連携し消毒箇所を設置など侵入させない防疫体制を整えている。

**市長** 本市は畜産の町である。これらのウイルスの侵入を防ぐため近隣の市町と連携し消毒箇所を設置など侵入させない防疫体制を整えている。



口蹄疫時の消毒作業

**市道、農道の高所伐採作業は**

**問** 高所伐採作業が必要な市道農道の路線数とその延長は町ごとにいくらか。

**市長** 市道については末吉町49路線で6・9km、大隅町66路線16・8km、財部町5路線1・4kmである。農道については末吉町9路線2・0km、大隅町25路線20・6km、財部町2路線3・1kmが必要である。

**問** 町ごとの年次計画を立てそれに基づく伐採作業を実施すべきでは。

**市長** 今後さらに伐採の必要な箇所等の調査を行い検討していく。

**人間ドック助成は**

**問** 75歳以上の人間ドックに対する助成措置は考えられないか。

**市長** 市の集団検診において基本検診・各種がん検診等で受診でき、大部分の検診項目が無料で受診できる。人間ドック助成は考えていない。

**温泉保養券の**

**選択肢は**

**問** 年一人当たり温泉宿泊保養券と日帰り保養券合計金額1万1千円の予算がある。その範囲で宿泊と日帰りを自由に選択できないか、その考えは。

**市長** 国民健康保険温泉保養所利用規則があり、宿泊と日帰りを自由に選択することはできない。

今後については利用状況、保養効果、他市町村の状況及び、国保特別会計の収支状況等総合的に勘案し、検討する。



伐採作業後の市道

# 曾於市のイメージキャラクター制作は

市長／PRに有効であり今後検討する



九日 克典 議員

**九日議員** 本市のPRシンボルとイメージアップの一環として親しみの持てるイメージキャラクターの制作検討は。

**池田市長** 市の特徴を表現したキャラクターは、イベント、各種キャンペーン、地域おこし、特産品の紹介など観光PR、及び販売促進活動において非常に有効なので、制作について今後検討する。



キャラクター薩摩剣士隼人

**問** 農業・企業・学校の連携による農畜産物のブランド化推進は。

**市長** 甘藷を加工する技術や工程を、企業と連携して焼芋を販売したり、末吉高校では、ゆず等を使った加工品販売をはじめ、企業と連携している。今後、このような取り組みがさらに伸びるのではないかと思う。

県では、大隅半島を食料供給基地と位置づけ「農業・加工技術研究施設」の整備が始まる。農業者と企業、あるいは研究機関との情報交換や交流等検討されている。

本市では、連携できる機会を充分に作ることで、農業・企業がともなうるおう特産品づくりができればと考える。

## 通学路の安全点検について

**問** 交通安全の観点から市内の通学路に危険箇所が何箇所ほど抽出されたか。

**植村教育長** 全国で登校中の児童が巻き込まれる交通事故が相次いだため、各小学校でPTA、地域住民、校区公民館役員、民生委員、児童委員、スクールガード等と学校が連携し、校区・通学路の安全点検を行った結果、危険箇所は合計245箇所であった。

**問** 危険箇所の対策は。

**教育長** 実際、現場での具体的な安全指導や校区安全マップ等を作成し、家庭への啓発・地域への情報提供を行う。今後とも、保護者や地域住民、関係機関と密接な連携を図り、環境整備・朝の登校指導等通学路の安全対策や点検を推進する。



歩道のない危険な通学路

## 曾於市内各小学校における抽出危険箇所数

町名	学校名	抽出危険箇所数
末吉 (97箇所)	末吉小学校	15
	櫛小学校	5
	高岡小学校	3
	岩北小学校	15
	岩南小学校	14
	諏訪小学校	26
	光神小学校	6
	深川小学校	1
大隅 (69箇所)	柳迫小学校	12
	岩川小学校	20
	菅牟田小学校	3
	笠木小学校	6
	大隅北小学校	10
	恒吉小学校	11
財部 (79箇所)	大隅南小学校	13
	月野小学校	6
	財部小学校	44
	財部北小学校	20
計	財部南小学校	12
	中谷小学校	3
計		245

※ 24年4月から5月にかけて調査し、市教委から各小学校に対して、安全点検結果をまとめた校区安全点検マップ等の提出を求めた結果がこの表である。



# 市長選挙出馬を問う

市長／三期目に挑戦したいと思っている



五位塚 剛 議員

**五位塚議員**

来年7月は市長選挙であるが、池田市長は再度出馬する考えはあるのか。

**池田市長**

政策についても評価をいただいている。パークゴルフ場・フ

ラワーパーク公園事業についても完成したいので三期目も挑戦したいと思っている。

## C型肝炎対策を 求める

**問** 市民のなかでC型肝炎からの原因で亡くなる方も多い。

今も苦しい中治療されている方に対して市として支援策は考えていないか。

**市長** 22年度はC型肝炎からの病気で亡くなられた方24名となっている。現在治療中の方が165名おられます。現在県の肝炎治療費補助制度で自己負担限度額2万円までの支援策がある。

**問** C型肝炎については自覚症状がないこともあり都市のように積極的な広報活動で早期発見早期治療が大切ではないか。

**保健課長** 今年から40歳以上5歳ごと肝炎検査事業を始めた。広報と検査については検討していく。

## フラワーパーク 建設は中止の決断を

**問** フラワーパーク建設については大多数の市民が反対であると思っている。民意を尊重する気持ちはあるか、所見を求める。

**市長** 建設については反対の方がおられることは承知しているが、賛成の方が多く思っている。

**問** 市長選挙時の新聞や、池田市長のパンフレットでもフラワーパーク事業について一言もふれていない。どう思うか。

**市長** 紙面の都合で書かれてなかったのだと思う。



弁当をひろげて調査

**問** 胡摩地域では未登記34筆の土地取得はできないと思うがどうか。

**企画課長** 自治会共有など相続できない可能性が高いと思う。

本としている。

**問** 世界のツツジを進めると言われたがどこの国のツツジか。

**市長** まだ決めていない。

**問** 市のハエ調査でも1箇所は868匹コバエなどあるのに問題ないと言われているが、食事中に弁当に付くおそれがあるがどうするのか。

**問** 議会は市民の代表であるから議会の議決は尊重しますと言っているが、議会が否決したら尊重するか。

**市長** 議会は認めてくれると思っている。

**市長** 食事はクラブハウスで食べることを基

# 学力向上を図れ

教育長／曾於市教育界の大きな課題である



土屋 健一 議員

**土屋議員** 本年度の全国学力テストの結果が出た。鹿児島県は中学校全科目で平均以下である。

小学校では理科だけが上回っている。学力が高いということは、家族、地域、学校の喜びである。学力向上を図るべきではないか。

**植村教育長** 市町村の分析はまだ受けていない。学習態度を育成したい。教師の指導力も向上させねばならない。

市教育委員会の方針の理解を徹底させるための方策をとる。

また、家庭における教育力の向上は不可欠であり、家庭と連携をとりながら向上させたい。

**問** 全国一位は秋田県、二位は福井県だが、本県との違いは何か。

**教育長** 本県の児童生徒は、基礎的知識は身につけているが、その知識を活用したり説明するのが苦手であると結果が出ている。

上位の県は、家庭や地域・大学の協力も厚い。教育意識、宅習システム、少人数指導等取り組みの差があると思われる。



財部中学校新校舎

**問** 鹿児島県の授業力向上プログラム、小・中連携をどう受け止めているか。

**教育長** 中学校全教師が3年に一回は研究授業を行う。教師力の向上につながる。小・中連携は重要な視点。

今年度から末吉、大隅、財部の各地域に分け、研修会を年2回追加する。県の方針を大切にして取り組んでいく。

## 滋賀県大津市の問題について

**問** 滋賀県大津市の不幸な事件をどう受け止めているか。

**教育長** 生徒の異変を見逃したり、相談を受けても対応が軽かったのが問題。

後にアンケートを実施しても十分な検証がなかったこと、マスクミヤ保護者への対応も

後手に回ったこと、学校と教育委員会の連携を密にして初期対応を適切に行う必要があったと思う。

**問** 曾於市のいじめ対策は万全か。アンケート調査は実施したのか。

**教育長** 無記名のアンケートは実施している。

早い段階で兆候をつかみ早く解決することが大切。未然防止に最大限の努力をする。

学校と教育委員会で情報を共有していきたい。今、文科省の依頼によりいじめ問題の緊急調査が行われている。調査を待ち、曾於市の児童生徒の育成に役立たい。



元気よくサッカーをする末吉小の児童

# 憶小学校の 学習農園について

市長／農業委員会に再申請する



今鶴 治信 議員

**今鶴議員** 社団法人「憶教育会」が所有する水田を市へ贈与する旨の申請が農業委員会です不許可になったがその理由は。

**農委会長** 現地調査した農業委員の報告につ



憶小児童によるアイガモの放鳥



いて他の農業委員からの質問があり、曾於市への贈与は法人税等を減免する目的なのか理由がわからない。再調査すべきという意見もあったが、多数決の結果不許可になった。

**問** 曾於市は農地を所有できるか。

**農委事務局長** 農地法施行令第6条の項で「地方公共団体がその権利を取得しようとする農地を公共用、また

は公共用に供すると認められること」とあるので可能である。

**問** 憶小学校の学習農園は、総合学習の一環としてアイガモ米や甘藷を植えて学校給食にも利用されている。

曾於市へ贈与して学習農園としてこれからも利用したいが、再申請は可能であるか。

**市長** 農業委員会に再申請する。

**園芸振興課** 曾於市の春キャベツの面積は。

**市長** 平成23年度の春キャベツの面積は44haである。

**問** 5月、6月の高温期に入るとキャベツの品質が低下するので野菜保冷施設がどうしても必要だが、その計画はあるか。

**市長** そお鹿児島農協においては、集出荷施設の計画を進めており、平成25年度国庫事業採択に向けて取り組んでいる。

**問** 真空冷蔵施設は、真空することにより酸素が排出され、冷却する時間は短縮し雑菌等の減少にも役立つが、導入計画は。



スーパー黄金千貫

**経済課長** これから具体的に計画していくところなので、各関係機関と連携を図りながら検討していく。

**問** 霧島酒造が系統選抜した焼酎用黄金千貫のウイルスフリー苗は、かなり収量増の効果が出ているが育苗センターに導入できないか。

**経済課長** もし苗の入手が可能なら、育苗センターに導入したい。

# 胡摩地区の排水対策と 遺跡調査は

市長／実施設計の段階で  
検討していく



漆間 純明 議員

**漆間議員** フラワーパーク建設予定地の排水事業計画（雨水対策）は新設か、既設か。  
**池田市長** 既設利用を考えている。  
**問** 計画路線の決定はいつ頃か。  
**市長** 実施計画の段階で検討していく。

**問** 路線内の水利組合数と受益面積は。  
**企画課長** 水利組合は

7組合、受益面積は53haである。

**問** 地元（水利組合）等との協議はどのような形を考えているか。

**企画課長** 実施設計等ができあがってから説明、協議をしたいと計画している。

**問** 昨日答弁で、予算が凍結の段階では事業着手はできないとあったが、当初予算案、補正予算案を組むときは、職員で積算し概算であがつてくると思うが。

**市長** 関連事業での白毛川の改修は考えていない。雨量がどれくらいあるかをもとに調整

池をいくつ作るか決め、白毛川までもっていく。

**問** 優秀な職員が各課にいいことから、プロジェクトチームをつくり概算がつかめるのでは。

**市長** 市職員は他の事業があり、ほとんど委託事業でやっている。この事業も委託事業で進めていく。行政改革で職員数も減っていて外部委託せざるをえない。また、その方が安くつく。

**問** 雨水対策事業は当初予算13億642万円

の中に入っているか。

**市長** 調整池と白毛川までの水路工事は入っている。

## 遺跡調査事業について

**問** 当該地は縄文時代晩期の住宅跡が発見された。入佐遺跡に近い位置にあり、試掘の結果次第では本格的な発掘の可能性が高いとされている。今後の計画と調査費等について積算、及びその根拠を問う。

**市長** 分布調査、及び試掘を含む確認調査を

行って文化財の存在する範囲を確認し、その後必要に応じて本格的な発掘調査（本調査）に入る。建設予定位置の面積は15万㎡で分布調査に10日程かかる。その結果により試掘を含む確認調査を行う。今のところ調査費は算出できない。

**問** 調査費㎡／当たり1万円、有資格者調査員1人、年に5千㎡以下と現地説明会等で聞いたが。

**社会教育課長** そお生さいき健康センター建設地遺跡調査費は㎡／当たり6千円、面積1500㎡で900万円だった。地形条件によって違うと思う。

予定地は山林もあり小型ショベルも必要となるのでは。今のところ見当がつかない。

**問** 発掘いかんによっては相当な経費と年月が

予想されるが、それでも事業を進める考えか。

**市長** 文化財があるのは覚悟しなければならぬが、その時の状況に対応しなければならぬ。調査費はほとんど国がみてくれると思う。

**社会教育課長** 公共事業にまつわる経費はほとんど国がみてくれると思うが、今回の事業は市単独事業であるため全額市の負担となる。

**問** 遺跡調査事業費は当初予算13億642万円の中に入っているか。

**市長** 全額入っていない。

**問** これだけの広大な面積では本市の専門職員だけで調査するのは厳しいのでは。

**市長** 本格的な調査になったときは県の有資格者職員をお願いする考えである。



遺跡調査（教育委員会提供）

# 閉校跡地利用は

市長／公募と解体等で進めている



山田 義盛 議員

**山田議員** 南之郷・財部南・財部北中学校の閉校施設は、閉校施設等活用基本方針により進められているが、その進捗状況と経過は。

**植村教育長** 南之郷中学校については、平成

25年度地域密着型サービス施設整備事業を実施する事業者の募集に手がけているところである。

財部北中学校及び財部南中学校については、  
①閉校施設を利用する民間企業者を、本年4月23日から6月26日にかけて公募した。

②その結果、財部北中学校に財部北校区社会福祉協議会、財部南中学校に(有)サイバーウエーブと(株)DIO(デイオ)ジャパンの2社から応募があった。

③8月2日に市の「規模適正化推進本部施設部会」で書類審査による「予備審査」を実施、8月22日に推進本部会により本審査を実施し、閉校施設利用団体を選定した。

④選定の結果は、財部北校区社会福祉協議会については



跡地利用が期待される旧財部南中学校

「**継続**」、(有)サイバーウエーブと(株)DIOジャパンの2社については「**適当**」とした。

**問** 平成17年3月に閉校になった旧大隅北中、恒吉中、月野中の閉校施設等について活用を検討しているのか。

**教育長** 3中学校の建物については、財産処分制限期間を経過した建物から年次的に解体

している。

その他の建物については、校区公民館や青年団、地域おこし団体等で資機材や物品等の保管場所として活用している。

また運動場は、グラウンドゴルフ同好会、スポーツ少年団等により活用が図られている。現在、大隅北中の運動場は、再生可能エネルギー事業での活用を協議中である。

**パークゴルフ場・フラワーパーク等整備事業について**

**問** 3月議会の付帯決議の中で、事業費2億5182万5千円については、特別委員会の結論を得るまで予算の執行は凍結となっているが、予算執行への思いは。

**池田市長** 現在、議会の意見を尊重し、事業を凍結している。環境調査が終わっているのので、1日も早く凍結の解除をしてほしい。

※継続…現段階での適否を保留し、継続審査とする。

※適当…閉校施設利用者として概ね適当及び適当である。



グラウンドゴルフ場として地域に開放されている旧恒吉中学校

# 大川原峽から関之尾滝間の 観光資源を活かせ

市長／早期整備に努める



山下 諭 議員

**山下議員** 財部の大川原峽と宮崎県関之尾間を結ぶ市道沿いの川辺は、多くの利用可能な観光資源がある。活かす考えは。

**池田市長** 当地は悠久の森、及び桐原の滝を中心とした大小様々な滝や溝ノ口洞穴等、自然に恵まれた風光明媚な景勝地がある。

この資源を活かすため霧島ジオパークによる散策ツアーの事前調査を都城市と連携して実施しているので、環霧島会議、及び定住自

立圏広域的交流の観光部会で広域での取り組みについて検討していく。

**問** 市長等幹部は市道沿いの川辺の現地に行ったことがあるか。

大川原峽、悠久の森、キャンプ場、桐原の滝、三連轟、特に発電所下の滝、水力発電所、中州黒隅、溝ノ口洞穴等原始が残る地域である。

**市長** 歩いて調査したことはないの、係に調査させる。

**問** この市道の川沿いの間伐等を実施すれば観光資源が見えてくる。看板もないが。

**市長** 現場を確認して対応する。



風光明媚な三連轟



広々とした財部坂元分譲地

## 財部坂元地区の 住宅分譲地は

**問** 財部坂元地区に造成された住宅分譲地の造成の現状等は。

**市長** 分譲する宅地が5726㎡、緑地帯及び雑種地が4489㎡、集会場敷地965㎡、道路2554㎡である。区画が15区画で平均

面積382㎡（115・7坪）である。分譲価格は不動産鑑定評価及び分譲事業費を勘案して算定する。

**問** 分譲の受付等は。

**市長** 分譲は条例に基づいて行う。

主な条件は契約者が20歳以上から60歳以下で2人以上の家族構成、

契約日から3年以内に建築することである。

登記完了後に広報し、1カ月間程度受付ける予定である。

人口対策として市外からの40歳以下の家族持ちの購入希望者に対しては、分譲価格を勘案する予定である。

## 公営住宅財部 新規団地の場所は

**問** 本年に計画されている公営住宅財部新規団地の場所、規模は。

**市長** 場所の選定は、交通や学校、駅、病院等への利便性と日照、通風、排水等の条件を検討し、現在、財部町南俣字前玉地区の水田11筆について用地の取得を進めており、総面積7602㎡を予定している。

住宅計画は、鉄筋コンクリート造2階建て3棟30戸と集会施設等の建設を予定している。

# 国民年金収納率は

市長／66.6%である



大川原 主税 議員

**大川原議員** 曾於市の給付実態はどうなっているか。

**池田市長** 国民年金の業務は、主に日本年金機構で行い、市では加入や届出などの窓口業務である。給付状況に

ついては、平成23年度末で受給者数が1万4507人、年金受給額が98億9803万1100円である。

内訳として、老齢基礎年金の受給者数が1万3006人で、年金受給額が86億422万7800円、障害基礎年金の受給者数が1397人、年金受給額が12億2102万9100円、遺族基礎年金の受給者数が104人、年金受給額が7277万4200円となっている。

**問** 納付の年代別、男女別の状況はどうなっているか。

**市長** 曾於市で20歳代44・4%、30歳代60・8%、40歳代67・6%、50歳代74・8%となっている。

全体的には、曾於市で66・6%、鹿屋管内では63・1%、鹿児島県が57・2%、全国で



鹿屋年金事務所による巡回移動相談

は58・6%となっており、全国の収納率を8%上回っている。

**問** 免除申請の現状はどうなっているのか。

**市長** 23年度末で第1号被保険者5588人に対し、2309人が申請しており、免除率41・3%で内訳としては、法定免除者606人、申請免除者1338人、学生免除者365人となっている。

**問** 今後の取り組みは。

**市長** 納付の必要性や無年金者の防止を図るために、年金相談・パンフレット・市報等を通じて年金制度を周知し、保険料納付の奨励に努めていく。

**市長** 一期目の施策を踏襲しながら、政策実行計画の柱として5つの柱をたてて取り組んできたが、ほぼ達成、進捗している。特筆すべきは、健全財政の確立では着実に合併時からすると各種行財政指針が好転してきている。組織機構改革や、定員適正化計画が円滑に推進している。

口蹄疫の猛威から本市の主力産業を守り抜いたこと、曾於市の特産品16品目のブランド化にこぎつけたこと、各施設の充実、中学校、救急施設、農産加工、保健施設等である。生産基盤の整備・道路・交通通信網等各分野で評価していただけるものと思っている。反省すべき点としては、人口減対策である。

## 池田市政について

**問** 二期目を振り返って評価すべき点、反省すべき点は。



曾於市特産品の並ぶ美食会会場（城山観光ホテル）

# 委 員 会 報 告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会
- 特別委員会

各常任委員会では、閉会中の所管事務調査や9月定例会で付託になった議案・陳情などについて審査を行いました。なお、特別委員会では継続事件について審査を行いました。

## 総務常任委員会

(吉村幸治委員長)

### 所管事務調査

○岡山県倉敷市

(調査事項)

指定管理者の選定方法に新たな方式「更新制」を導入

指定管理者制度を導入して以降、全体としてサービス水準が向上し、経費削減も実現できた」と評価している。

制度運用も安定しているようであるが、公益性や公平性に配慮しながらも、さらに競争性を高め、民間企業

環境リーダー活動支援事業

環境保全事業の一つであり、自主的な住民

等のノウハウを活用し、サービスの向上等を図るには指定管理者の運営の自由度を確保して、能力をさらに引き出すため、複数年契約を締結する形で財源を保証する更新制を導入していた。

○徳島県徳島市

(調査事項)

環境リーダー活動支援事業

環境保全事業の一つであり、自主的な住民

主導型の環境保全活動や啓発活動に取り組み人材の育成、及び活動支援を実施することで、行政主導ではなく市民一人ひとりの主体的な取り組みを促進し、効果的に環境の保全を図るため、環境リーダー養成講座や食をテーマとした環境講座などを行なっていた。

### ☆平成24年度曾於市一般会計予算の補正(所管分)

**問** 旧恒吉中学校校便所棟新築工事費の便器の数は。

**答** 男子トイレの大一基、小が一基、女子トイレは大が一基の計画である。

**意見** 女子トイレの大一基では対応できないのではないか、再検討すべきである。

**問** 小規模集落水道施設整備補助金は。



曾於市クリーンセンター全景

**答** 新たに神牟礼地区の追加申請に伴うものである。

**意見** この事業は山村地区にとってライフラインである。戸数が少なくなければなるほど一戸当たりの負担は多くなるので、今後補助率等もアップして山村地区を守るべきである。

**問** 市クリーンセンターの焼却・粗大ごみ処理施設等修繕費は。

**答** 当初予算で2000万円計上していたが、修繕の発生により執行

残がなくなった。今後、緊急な修繕が発生した時のための補正額300万円である。

**意見** 今後において焼却炉等の多額な修繕が発生した場合、市民生活に密着するため早急に対処すべきである。

予算は総計予算主義であり、長期計画に基づいて当初予算に組むべきものは組むことを基本にすべきである。予算執行に当たっては節減をすべきである。



倉敷市での研修



# 文教厚生常任委員会

(大川内富男委員長)

## 所管事務調査

○富山県射水市

(調査事項)

学力向上対策への取り組みについて

射水市は、全国的にも学力上位の富山県において、もともと学力の高い市である。

県では質の高い教育実現のため、小1、2年生では35人学級を中学1年生については35人学級、または少人数学級との選択制の導入を国の法改正に先立って実施している。

また、平成20年度より実施している「とやま型学力向上プログラム」は内容を拡充し、活動の推進母体を県から市町村に移し「書く活動」「話し合い」を重視した授業により表現力の向上、知識の定着を図っており、特に射水市は小・中9年間を

見据えて小学校2校・中学校2校の2グループの拠点校を設け、中1ギャップへの対応・指導内容やルールの共有化・小中学校間での相互授業参観など実践研究に取り組み、確実な成果をあげていた。

○石川県輪島市 (調査事項)

輪島市にある精神薄弱者授産施設「ふれあい工房あぎし」は、平成6年に閉校した小学校跡地を平成8年から利用し開設している。

跡地利用決定にいたる経緯は、能登地区に精神薄弱者施設が不足していたため、各種団体の代表により構成される学校統合問題検討委員会・地区住民全員参加型の地区懇談会で

の協議を経て、公募によらず行政主導により福祉施設として利用することが決定された。

また、当時の町長が後に施設を運営することとなる社会福祉法人の理事長を兼ねていたことも大きな要因である。

施設の運営状況は開設当初より行政からの補助があり、数年後には黒字に転換し、現在も順調に推移しているとのことであった。

なお、学校施設を他の用途に転換する場合、改修費用も含め多大な経費を要するため、行政による積極的な助成が行われている点は注目される点である。

☆曾於市生いき健康センターの設置及び管理に関する条例の制定について

本案は、そお生いき健康センターの建設に伴い、曾於市末吉福祉メセナ会館の設置及び管理に関する条例を廃止し、メセナ会館と一体的な施設の維持管理を行うため新たに条例を制定するものであり採決の結果、全会一致で可決すべきと決定した。

☆平成24年度一般会計予算(所管分)

問 児童相談システム開発委託料は。



弥五郎どん制作過程

答 児童虐待に結びつく可能性のある情報を集約・共有することにより、児童虐待の早期発見・予防を目的としている。

問 予防接種委託料は。

答 従来、ポリオワクチンとして径口生ワクチンを使用していたが、まれに副作用が現れる例があり、10月より安全性の高い不活化ワクチンを使用するためのものである。

問 文化財保護費のその他委託料は。

☆平成24年度国民健康保険特別会計予算

問 脳卒中プロジェクトモデル事業とは。

答 鹿児島県は脳疾患による死亡率が高いため、県の要請により取り組み事業である。

食品モデルを使った栄養指導・頸部エコー検査による動脈硬化の早期発見等に取り組み医療費の抑制に努めたい。



小学校跡地を利用しているふれあい工房あぎし(輪島市)

# 建設経済常任委員会

(山下 諭委員長)

## 所管事務調査

○愛媛県八幡浜市

(調査事項)

曾於市は、東部畑かんは既に完成して通水している。北部畑かんもダムは完成し、県事業の進捗と平行して逐次水利用が可能となるが、通水あと後の水利用状況について調査研修。

当地区は柑橘の生産地であるが、畑かん事業が本市と根本的に違うのは地元住民からの切なる必要性による申請で工事が施工されていく、また生活用水(上水道)も兼ねていることで、水利用者の真剣さが伝わってきた。本市の莫大な経費を注ぎ込んでの事業であるので、行政も水利用予定者も有効に活用できる方法を真剣に考えておくべきである。

○香川県三豊市

(調査事項)

知名度向上プロジェクトに取り組んでいる同じ合併市である当市を調査研修。

先ず県内の人に市名や位置、特産物、観光地を覚えてもらうことから始め、根気強く市民全員がPRマンとなっていた。



三豊市での事務調査

## ☆平成24年度曾於市一般会計予算の補正(所管分)

**問** 地域商品券発行事業が新たに460万円計上されたが、内容は。

**答** 口蹄疫対策地域活性化事業助成金として、県内産牛豚肉消費拡大のため鹿兒島産業支援センターよりの2分の1助成を活用して100円のプレミアム付き商品券1枚600円を500円で4万枚を発行する事業の、肉類消費拡大商品券発行事業補助金である。

**意見** 取り扱う店舗が限定されるので、市民が平等に恩恵を受けられるような方法で実施されたい。

**問** 末吉地区農業研修センター管理費補正の

理由は。

**答** 当センターの食品加工指導員を臨時職員からシルバー人材センターへの委託に変更するものである。

**意見** 全ての同様施設の指導員には研修を受けさせることはもちろん、実際に指導できる人を雇用すべきである。

**問** 市単独で畜産基盤施設整備事業として各種の補助を行っている。パドック牛舎等はこの補助事業で設置されたものの高齢に伴い、畜産をやめられる農家もある中で、そういった農家の施設を調査し再利用の方法を講ずる等有効活用を図るべきである。

**答** 設置されている場所、種類、使用年数にもよるが、利用希望者があればその方向で対応していく。



プレミアム商品券

## ☆平成24年度曾於市公営下水道事業特別会計予算の補正

今回の補正は、消費税確定による納税額と下水道浄化センター修繕料の追加補正で、不足する財源は平成23年度決算繰越金の一部を充当するものである。

## ☆平成24年度曾於市水道事業会計の予算の補正

末吉上水道丸山地区の水量不足に対応してバイパス600mの水道管布設工事費1360万円の追加補正で、財源は過年度分損益勘定留保金や、利益剰余金で補てんする。

# パークゴルフ場・フラワーパーク整備事業調査特別委員会

(渡辺利治委員長)

仮称パークゴルフ・フラワー公園に関する陳情書については採択、予定地については不適地と決定

第7回特別委員会は、平成24年9月19日、執行部、傍聴者48名の出席のもと全委員で審査。

## ☆「仮称パークゴルフ・フラワー公園に関する陳情書」の審査について

本陳情は、曾於市財部町南俣607番地、曾於市の活性化推進協議会代表 永吉正氏から提出されたものである。

陳情の内容は、『曾於市が観光イメージづくりに取り組み、地域の魅力拡大を図るためには、豊かな農村交流を促進する施設や、楽しさあふれる観光イ

メント等の組み合わせが重要であると考え。

仮称パークゴルフ・フラワー公園計画は、健康・自然・産業・観光振興等と密接なつながり・連携が図れる機能を持つことにより、曾於市振興の要として期待される。

よって、曾於市の特性を活かした地産地消とネットワーク形成を図り、観光・ふれあいの拠点として交流人口の増加による経済効果が期待できるような規模の計画を要望するものである。』

審査過程では、曾於市の人口は年々減少の過程をたどっており、今後、この事業を通じて、観光による市外からの交流人口の増加を図り、まちおこしを推進することが不可欠であり、

雇用等の面でもこの事業は必要な事業であるとの意見があった。

本委員会では採決の結果、本陳情は、賛成多数で採択すべきものと決定した。

しかし、予定地についての議論があり、その結果、本委員会では、本事業の場所の適否について賛否することになり、次のとおりの意見が出された。

- ・多額の維持管理費が必要で実施すべきでない。
- ・胡摩地区周辺は、ハエ、臭気がひどいと先入観があったが、現地調



特別委員会風景

査の結果、気にするほどでもなく胡摩地区を進めるべきである。

規模を縮小してでも計画を進めるべき。人口減少の中、まちおこしのための拠点として事業は必要である。

- ・フラワー公園はやめてパークゴルフ場、グラウンドゴルフ場は建設してよい。
- ・畜産振興上、胡摩地区以外で建設すべきである。

その結果、賛成少数で末吉町胡摩地区での建設は不適地と決定した。

※なお、11月5日臨時議会において賛成多数で予算執行凍結を解除すると決定した。



フラワーパークかごしま内を調査

### 事務調査

県内・市内において現地調査を行いました。(調査事項)

各施設の概要、管理・運営や入園者数の推移や、現状と課題と取り組み等

- ・弥五郎伝説の里(大隅町)
- ・栄楽公園(末吉町)
- ・高之峯(末吉町)
- ・城山公園(財部町)

○ハエ取り調査及び臭気調査を6日間かけて6箇所を実施。

- 県内現地調査(7月13日に2箇所)
- ・フラワーパークかごしま(指宿市)
- ・高峠つつけヶ丘公園(垂水市)

### ○市内現地調査

- ・大鳥峡(大隅町)

- ・末吉町胡摩地区内4箇所
- ・四季祭市場
- ・高之峯地区

# 議会の動き

## 8月

- 3日 全員協議会
- 20日 議会運営等調査特別委員会  
小委員会
- 〃 都城・志布志道路建設提言要望  
活動（～21日）
- 26日 関東曾於市の会（～27日）
- 29日 パークゴルフ場・フラワーパーク  
整備事業特別委員会
- 〃 文教厚生常任委員会

## 9月

- 3日 議会運営委員会
- 6日 第3回定例会（初日）、  
全員協議会、第1回議会広報等  
調査特別委員会
- 10日 本会議（一般質問）
- 11日 本会議（一般質問）
- 12日 本会議（一般質問）
- 13日 本会議（総括質疑・委員会付託・  
決算上程）、全員協議会
- 14日 常任委員会

## 9月

- 18日 議会運営委員会
- 19日 パークゴルフ場・フラワーパーク  
整備事業特別委員会
- 25日 本会議（審議・表決・質疑（決算）・  
委員会付託）
- 26日 議会運営等調査特別委員会  
小委員会、第2回議会広報等調  
査特別委員会
- 27日 決算委員会（～10月15日）

## 10月

- 10日 全国市議会議長会研究  
フォーラム（～12日）
- 15日 市町村政研修会
- 16日 第3回議会広報等調査特別委員会
- 23日 パークゴルフ場・フラワーパーク  
整備事業特別委員会
- 〃 議会運営委員会
- 25日 議会運営等調査特別委員会  
小委員会
- 30日 第4回議会広報等調査特別委員会

### 表紙によせて



大隅北保育園児による  
おろん東屋上棟あめひろ  
の様子です。  
このおろんとは、この地  
区一帯が島津の殿様の牧  
場（末吉牧）で馬を追っ  
込んで捕まえる「苙」か  
らおろん迫、おろん段と  
か呼ばれていたそうです。  
鹿児島の方言で「お  
いどん」「おろんたつが」  
もこれからきているとい  
う説もあります。  
地区の有志が過疎を  
憂い「だれもが集える場  
所づくり」としておろん  
活動が始まっています。

（八木）

### 編集後記

九月議会は市民にとつて重要な議会でもありました。フラワーパーク建設について特別委員会の結論が出されたからです。胡摩地域は不適であるとの報告がされました。

今後どうするかは池田市長の考え方でしょう。

市民の方々がこのことについて色々と議論すること、市政発展につながるでしょう。そのような住民意識の変化を期待するものです。

（五位塚）



## 議会を傍聴してみませんか

次の定例会は12月4日開会の予定です。  
定例会の日程、傍聴、その他についてのお問い合わせはお気軽に議会事務局にお尋ねください。

TEL 76-8816（直通）

### 議会広報等調査特別委員会

- |       |       |
|-------|-------|
| 委員長   | 八木 秋博 |
| 副委員長  | 九日 克典 |
| 委員    | 今鶴 治信 |
| 〃     | 五位塚 剛 |
| 〃     | 久長登良男 |
| 〃     | 海野 隆平 |
| 発行責任者 | 谷口 義則 |